

経営比較分析表（令和5年度決算）

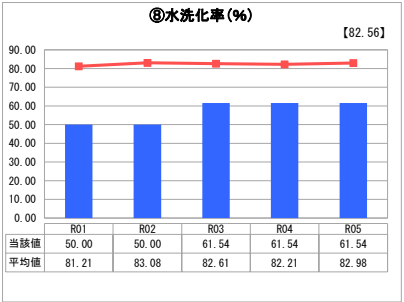
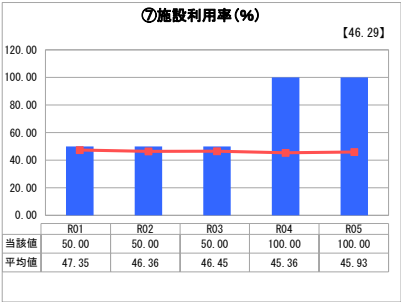
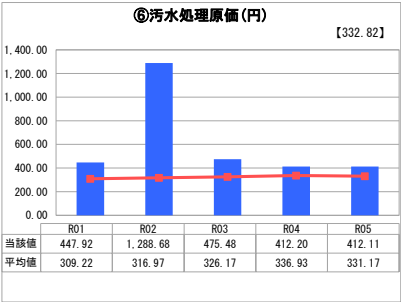
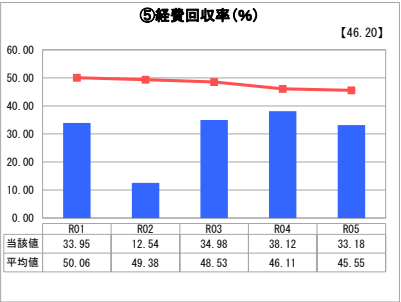
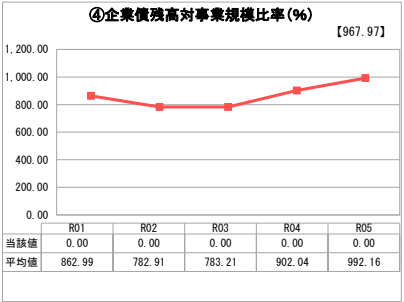
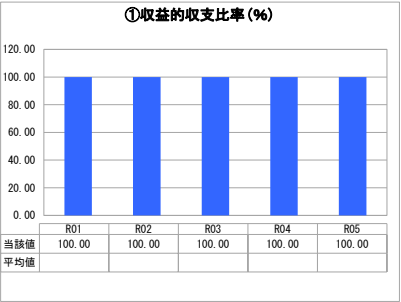
佐賀県 江北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.14	100.00	2,990

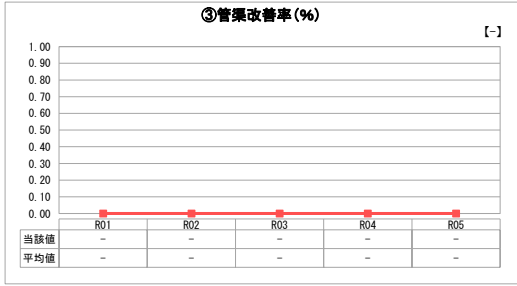
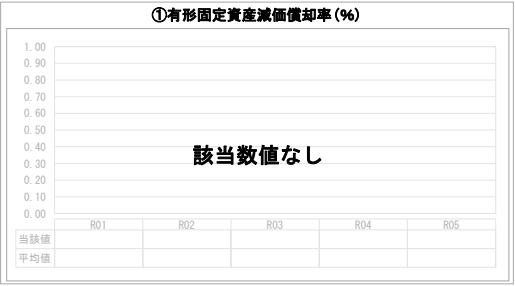
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,593	24.88	385.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13	0.03	433.33

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は100%となっているが、下水道使用料では費用を賄うことができない状況であるため、収入の多くを一般会計からの繰入に依存している。

施設利用率については類似団体平均及び全国平均よりも良好であるが、経費回収率、汚水処理原価、水洗化率については低い水準である。

個別排水処理事業については、管理する浄化槽が3か所まで小規模であり、維持管理費に対して恒常的に下水道使用料が不足している状況である。

2. 老朽化の状況について

年3回の点検と清掃を定期的に行っており、不具合についても早期に対応している。供用開始から20年近く経過しており、今後は部品交換等の軽微な修繕だけでなく、槽本体にかかるような大規模な修繕が発生することが予想される。

全体総括

点検と清掃を定期的に行い、浄化槽の維持管理費の低減に努める。

また、令和6年度に地方公営企業会計に移行した後、下水道事業経営戦略や維持管理費に見合った下水道使用料の見直しについて検討を行い、一般会計からの繰入に依存している状況からの改善を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。